

---

**金沢マラソン2025  
(KM2025)  
大学連携成果発表会報告**

# **KM2025経済波及効果について**

令和8年3月21日

金沢学院大学経済学部 荒島祥太 遠藤英壽 島田佳典  
監修:経済学部教授 豊田欣吾

# 構成

---

- (1) KM2025ランナーアンケートの概要
- (2) KM2025の石川県内への経済波及効果
- (3) ランナーの参加回数別消費単価・同行者比率
- (4) 県外ランナーの観光動向
- (5) まとめ

## 【表1】 KM2025ランナーアンケート(国内)回答者

地域名	参加者（事前登録者）		アンケート回答者	
	人数	構成比	人数	構成比
石川県内	7,495	47.0	1,395	48.3
金沢市内	N.A.	N.A.	724	25.1
金沢市外	N.A.	N.A.	671	23.3
石川県外	8,446	53.0	1,491	51.7
隣接県	1,703	10.7	321	11.1
遠隔県	6,743	42.3	1,170	40.5
関東圏	2,589	16.2	411	14.2
近畿圏	1,730	10.9	303	10.5
東海圏	1,246	7.8	221	7.7
その他	1,178	7.4	235	6.7
合計	15,941	100.0	2,886	100.0

資料: KM2025ランナーアンケート結果をもとに作成

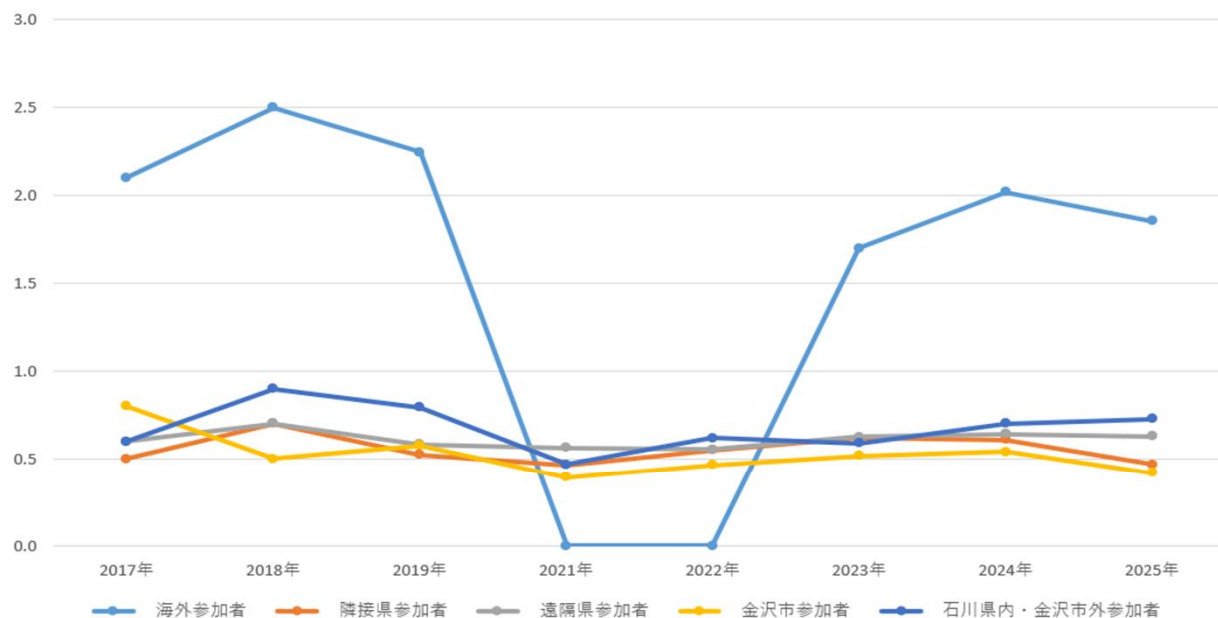
- ・今回のアンケート(国内)回答者は2,886人
- ・回答者の地域別の構成は事前登録者(15,941人)の地域別構成と近似しており、アンケートの結果は母集団の状況をほぼ反映しているものと考えられる。

## 【表2】ランナーアンケート回答者地域別内訳の推移

	KM2021(F)			KM2022(F)			KM2023(F)			KM2024(F)			KM2025(F)		
	回答者数	構成比	事前登録者 構成比	回答者数	構成比	事前登録者 構成比	回答者数	構成比	事前登録者 構成比	回答者数	構成比	事前登録者 構成比	回答者数	構成比	事前登録者 構成比
金沢市内	1,195	22.9	N.A.	929	23.0	N.A.	1,041	24.9	N.A.	936	26.4	N.A.	724	23.8	N.A.
石川県内 (除く金沢市内)	930	17.9	N.A.	721	17.8	N.A.	825	19.7	N.A.	683	19.3	N.A.	671	22.1	N.A.
石川県内	2,125	40.8	40.5	1,650	40.8	42.2	1,866	44.7	41.8	1,619	45.7	48.0	1,395	45.9	44.2
石川県外	3,084	59.2	59.5	2,391	59.2	57.8	2,312	55.3	58.2	1,864	52.6	52.0	1,645	54.1	55.8
北海道・東北・新潟	108	2.1	2.3	105	2.6	2.4	92	2.2	2.1	73	2.1	2.2	99	3.3	2.6
関東	873	16.8	16.4	695	17.2	17.0	630	15.1	15.9	539	15.2	15.3	411	13.5	15.3
甲信(山梨・長野)	51	1.0	0.9	43	1.1	1.0	51	1.2	1.2	39	1.1	1.0	45	1.5	1.2
隣接県(富山・福井・岐阜)	336	6.5	6.5	314	7.8	7.6	332	7.9	8.1	392	11.1	10.7	321	10.6	10.0
東海(愛知・静岡・三重)	543	10.4	10.6	456	11.3	11.3	415	9.9	9.4	293	8.3	8.4	221	7.3	7.3
近畿	997	19.1	19.1	632	15.6	15.2	603	14.4	12.8	409	11.5	11.5	303	10.0	10.2
中国・四国	117	2.2	2.4	95	2.4	2.1	88	2.1	1.9	70	2.0	1.9	67	2.2	1.9
九州・沖縄	59	1.1	1.3	51	1.3	1.1	48	1.1	1.1	50	1.4	1.1	25	0.8	1.2
海外	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	53	1.3	5.7	61	1.7	4.2	154	5.1	6.1
合計	5,209	100.0	100.0	4,041	100.0	100.0	4,178	100.0	100.0	3,544	100.0	100.0	3,040	100.0	100.0
住所地未回答	0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	
再計	5,209	100.0		4,041	96.7		4,178	100.0		3,544	100.0		3,040	100.0	

資料: KM2025ランナーアンケート結果をもとに作成

# 【図1】参加ランナー同行者比率の推移



【表3】参加ランナー同伴者比率の推移

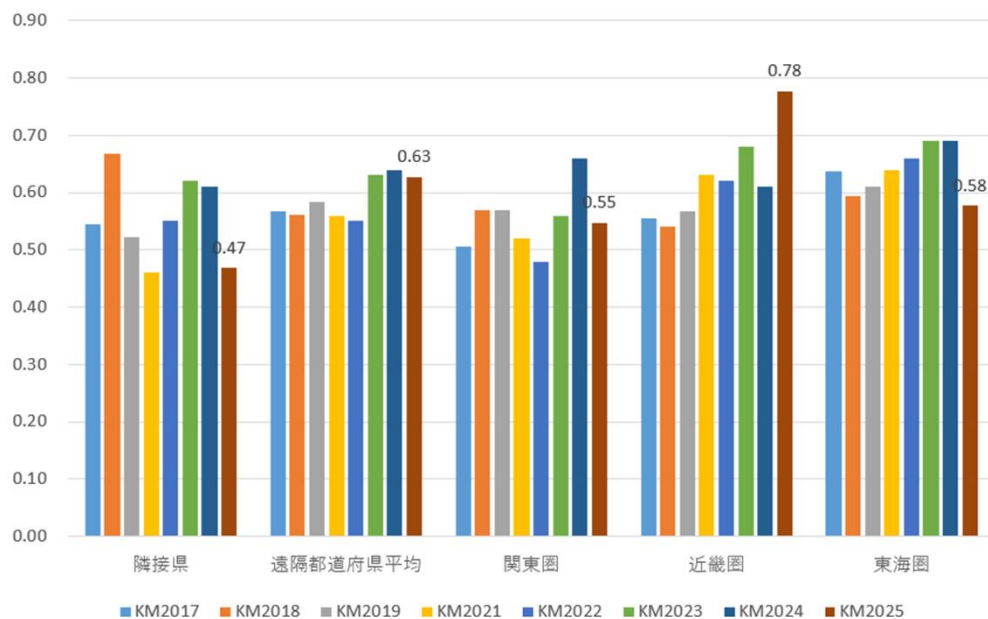
(単位: 人)

	2017年	2018年	2019年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
海外参加者	2.1	2.5	2.2	0.0	0.0	1.7	2.0	1.9
隣接県参加者	0.5	0.7	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	0.5
遠隔県参加者	0.6	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
金沢市参加者	0.8	0.5	0.6	0.4	0.5	0.5	0.5	0.4
石川県内・金沢市外参加者	0.6	0.9	0.8	0.5	0.6	0.6	0.7	0.7

資料: KM2025ランナーアンケート結果をもとに作成

- ・参加ランナーの同行者比率は、海外ランナーの同行者比率が極めて高いなど前回大会【KM2024】と比べて大きな変化はなかった。
- ・加えて、隣接県参加者、遠隔県参加者、金沢市参加者の同行者比率にも大きな変化はみられなかった。

## 【図2】 県外ランナーの地域別同行者比率の推移



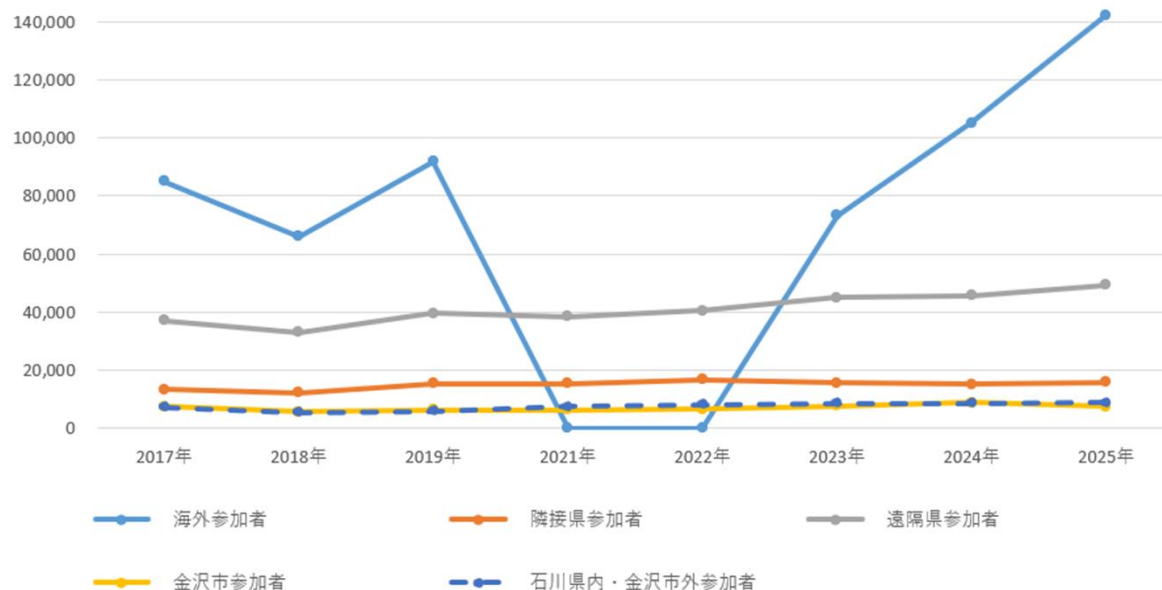
【表4】 県外ランナー 地域別同行者比率の推移 (単位：人)

	隣接県	隣接県以外				海外
		遠隔都道府県平均	関東圏	近畿圏	東海圏	
KM2017	0.54	0.57	0.51	0.55	0.64	2.10
KM2018	0.67	0.56	0.57	0.54	0.59	2.50
KM2019	0.52	0.58	0.57	0.57	0.61	2.25
KM2021	0.46	0.56	0.52	0.63	0.64	-
KM2022	0.55	0.55	0.48	0.62	0.66	-
KM2023	0.62	0.63	0.56	0.68	0.69	1.70
KM2024	0.61	0.64	0.66	0.61	0.69	2.02
KM2025	0.47	0.63	0.55	0.78	0.58	1.85

資料：KM2025ランナーアンケート結果をもとに作成

- ・地域別にみた同行者比率は、隣接県よりも遠隔県の方が高くなる傾向がある。
- ・隣接県・遠隔県ともに大きな変化は見られなかったが、今回、近畿圏の同行者比率は大きく上昇した。

## 【図3】参加ランナーの消費単価の推移



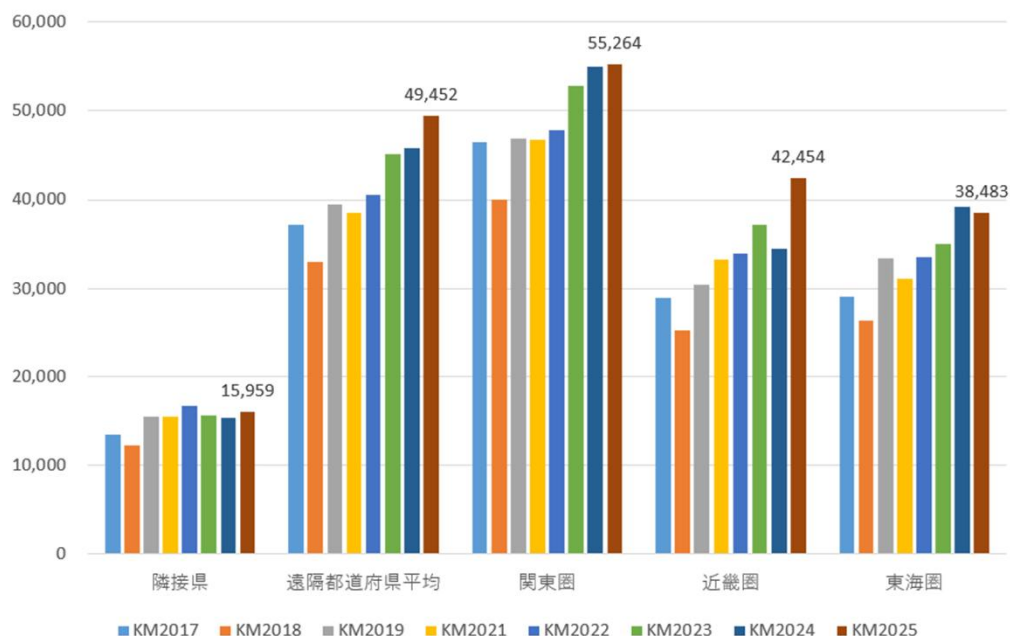
【表5】参加ランナー消費単価推移

(単位：円)

	2017年	2018年	2019年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
海外参加者	85,000	65,984	91,863	0	0	73,331	105,221	142,083
隣接県参加者	13,411	12,296	15,532	15,517	16,737	15,603	15,350	15,959
遠隔県参加者	37,148	33,033	39,537	38,536	40,591	45,108	45,786	49,452
金沢市参加者	7,543	5,653	6,362	6,427	6,619	7,746	9,023	7,567
石川県内・金沢市外参加者	7,331	5,609	6,038	7,560	8,179	8,664	8,676	9,007

- ・全体の消費単価は上昇したものと考えられる。
- ・これには、消費単価の相対的に高い海外ランナーや遠隔県ランナーの消費単価がさらに上昇したことが挙げられる。
- ・海外ランナーについては円安の影響が、遠隔県ランナーについては物価上昇が影響しているものと考えられる。

## 【図4】 県外ランナー 地域別消費単価の推移



【表6】 県外ランナー 地域別消費単価の推移

(単位：円)

	隣接県	隣接県以外				海外
		遠隔都道府県平均	関東圏	近畿圏	東海圏	
KM2017	13,411	37,148	46,520	28,908	29,030	85,000
KM2018	12,296	33,033	40,011	25,154	26,403	65,984
KM2019	15,532	39,537	46,891	30,459	33,408	91,863
KM2021	15,517	38,536	46,726	33,221	31,075	-
KM2022	16,737	40,591	47,877	34,008	33,504	-
KM2023	15,603	45,108	52,881	37,184	34,962	73,331
KM2024	15,350	45,786	55,035	34,517	39,162	105,221
KM2025	15,959	49,452	55,264	42,454	38,483	142,083

資料：KM2025ランナーアンケート結果をもとに作成

- ・遠隔県ランナーの消費単価が49,452円まで上昇、とくに関東圏ランナーの消費単価は55,264円まで上昇した(関東圏ランナーの消費単価の水準が他圏域に比べて相対的に高くなるという傾向自体に変化はない)。
- ・また、海外ランナーの消費単価も初めて14万円を上回る事となった。

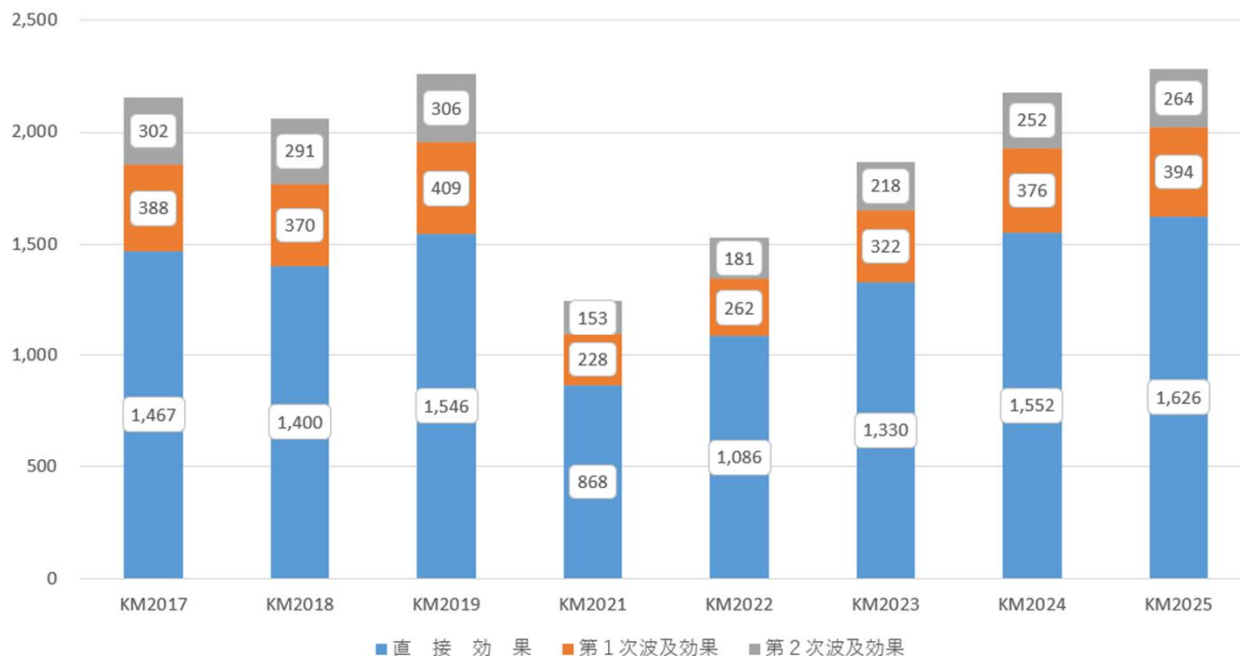
## 【表7】 消費総額の推計

項目	人数 (人)	消費単価 (円)	消費額(A) (百万円)	参考	
				2024年 消費額(B)	A-B
ランナー消費額	15,589		522	424	98
県外	8,704		465	362	103
海外	944	142,083	134	64	70
隣接県	1,565	15,959	25	24	1
その他	6,195	49,452	306	275	31
石川県内	7,011		57	62	-5
金沢市内	3,740	7,567	28	34	-6
金沢市外	3,146	9,007	28	28	0
ランナー同行者消費額	9,477		435	391	44
県外	5,637		408	353	50
海外	1,505	142,083	214	172	42
隣接県	461	15,959	7	9	-2
その他	3,670	49,452	181	171	10
石川県内	3,840		32	38	-6
金沢市内	1,556	7,567	12	18	-6
金沢市外	2,284	9,007	21	20	1
沿道応援者消費額	193,500	2,965	574	635	-61
ボランティア消費額	4,800	975	5	4	1
大会関係者消費額	2,321	975	2	2	0
関係者消費額 合計			1,538	1,456	82
大会運営費			572	548	24
消費額・大会運営費合計			2,110	2,004	106

- ・前回【KM2024】と比べると、参加ランナー増加から、ランナー消費額、ランナー同行者消費額ともに増加。
- ・一方で、悪天候の影響もあって沿道応援者数が減少したことから、沿道応援消費額は減少。
- ・以上により、参加ランナー等の消費額やその他の関連する消費額、さらには、大会運営費全て合計すると、約21.1億円の消費が発生したものと推計される。

資料: KM2025ランナーアンケート結果をもとに作成

## 【図5】 石川県内への経済波及効果額の推移



・KM2025開催による石川県内への経済波及効果は、マラソン参加者等が県内で消費することによって生まれる「直接効果」が16.3億円、直接効果によって誘発される「第1次波及効果」が3.9億円、「第2次波及効果」が2.6億円となり、全体の経済波及効果は22.8億円となった。

【表8】経済波及効果推移

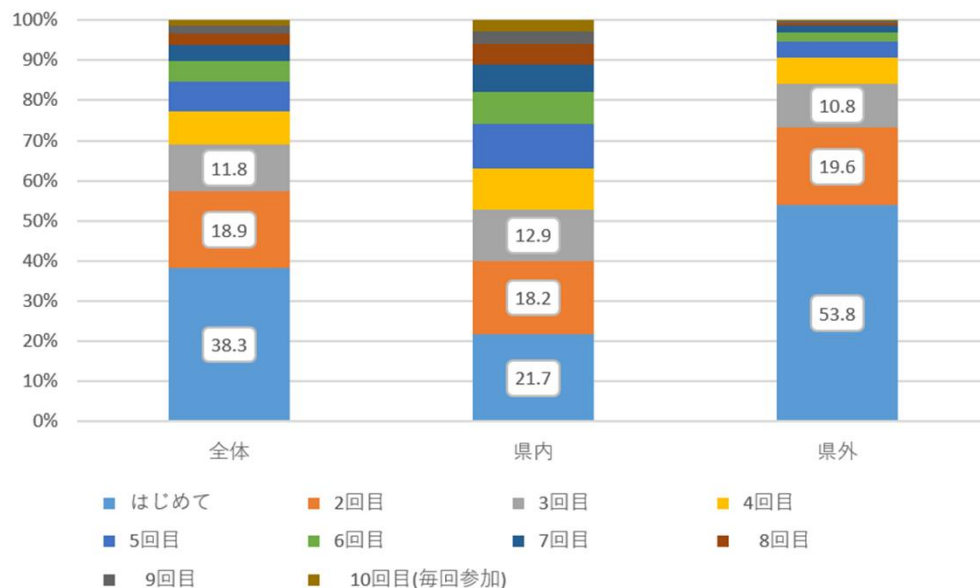
(単位:百万円)

	KM2017	KM2018	KM2019	KM2021	KM2022	KM2023	KM2024	KM2025
直接効果	1,467	1,400	1,546	868	1,086	1,330	1,552	1,626
第1次波及効果	388	370	409	228	262	322	376	394
第2次波及効果	302	291	306	153	181	218	252	264
経済波及効果	2,157	2,061	2,260	1,248	1,528	1,870	2,179	2,284

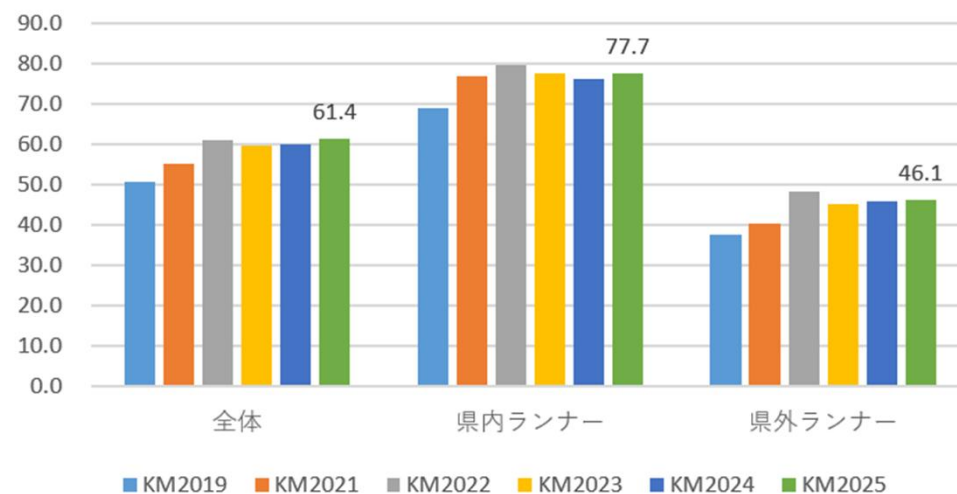
資料:KM2025ランナーアンケート結果をもとに作成

## 【図6】【図7】ランナー参加回数別分析

【図6】KM2025ランナー参加回数別構成比(単位:%)



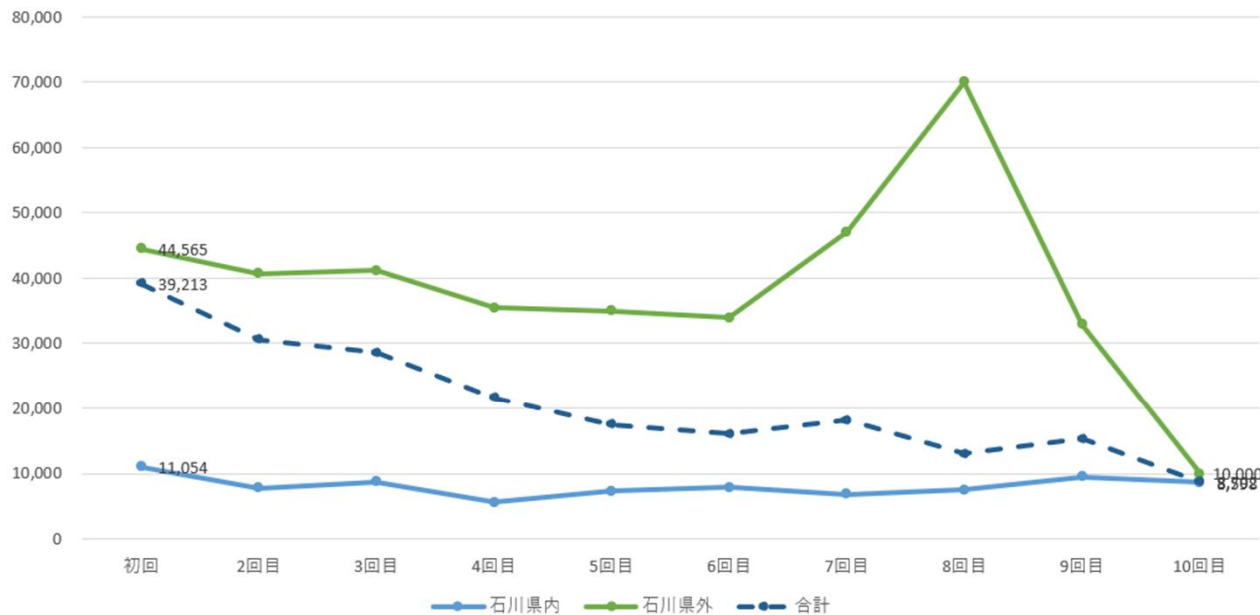
【図7】リピーター比率の推移(単位:%)



資料:KM2025ランナーアンケート結果をもとに作成

- ・国内ランナーのリピーター比率は安定的に推移。
- ・リピーター比率が高まっていくことは初めて参加するランナーの比率が低下していくことでもあり、むしろ、イベントの活力を維持・強化していくためには一定程度の参加者の新陳代謝が必要。ある程度のリピーター比率で安定的に推移していくことが望ましい。

## 【図8】ランナー参加回数別消費単価の推移



【表9】KG2025ランナー参加回数別消費単価

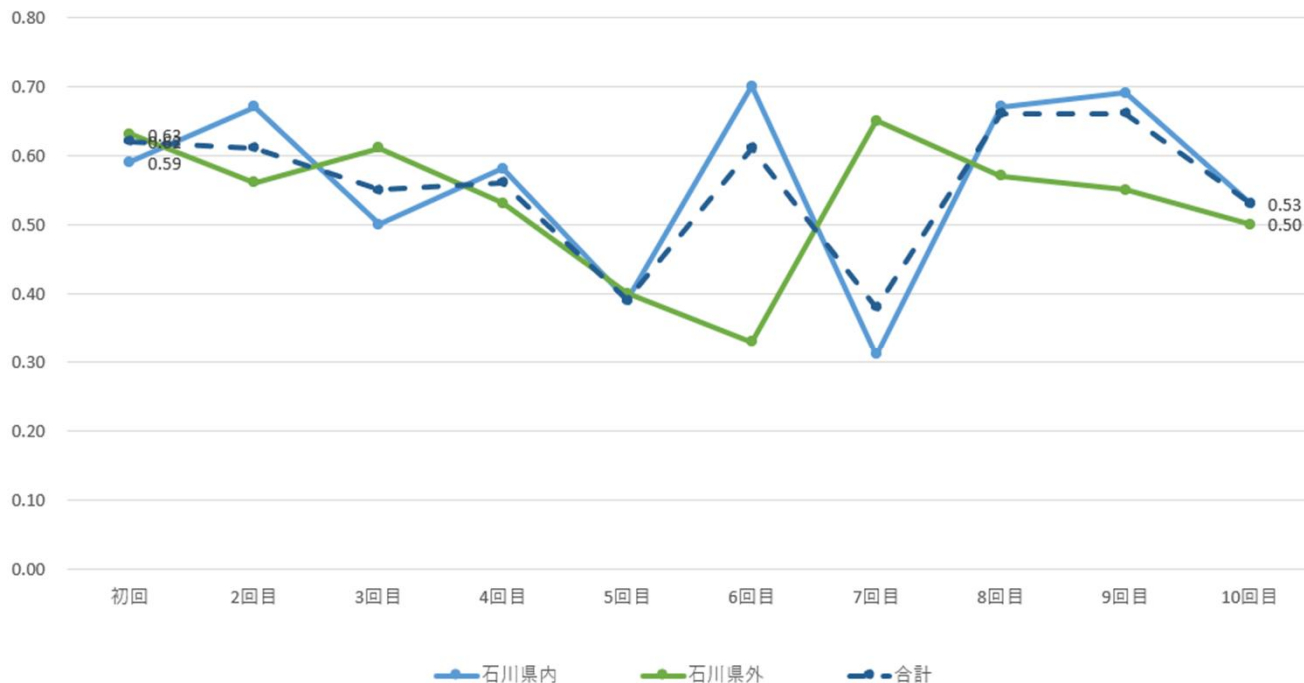
(単位:円)

	初回	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目	10回目	平均
石川県内	11,054	7,774	8,714	5,577	7,328	7,883	6,786	7,536	9,479	8,598	8,260
石川県外	44,565	40,753	41,164	35,471	34,962	33,932	47,091	70,000	32,909	10,000	42,223
合計	39,213	30,626	28,643	21,631	17,499	16,040	18,154	12,968	15,336	8,702	30,077

資料:KM2025ランナーアンケート結果をもとに作成

- ・消費単価を県内外で比較すると、県外の消費単価が圧倒的に高い。
- ・一方、参加回数を重ねても消費単価は県外・県内ともに比較的安定している。
- ※県外の8回目以降の消費単価の振幅が大きいのは、サンプル数の制約による影響と考えられる。
- ・なお、全体の消費単価が回を重ねるごとに低下するのは、県内・県外ランナーの構成比の変化によるもの。

## 【図9】ランナー参加回数別同行者比率の推移



- ・回を重ねるごとの同行者比率を県内外で比較すると、大きな差が生じることを明確に確認することはできない。
- ・また、回を重ねるごとの同行者比率の変化（低下傾向、或いは上昇傾向）についても、明確に確認することはできない。

【表10】KM2025ランナー参加回数別同行者比率

(単位：人)

	初回	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目	10回目	平均
石川県内	0.59	0.67	0.50	0.58	0.39	0.70	0.31	0.67	0.69	0.53	0.57
石川県外	0.63	0.56	0.61	0.53	0.40	0.33	0.65	0.57	0.55	0.50	0.59
合計	0.62	0.61	0.55	0.56	0.39	0.61	0.38	0.66	0.66	0.53	0.58

資料：KM2025ランナーアンケート結果をもとに作成

# 【表11】 県外ランナーの観光動向

【表11】 観光先別観光者数（県外ランナー、複数回答）対比

	KM2024			KM2025		
	人数（人）	構成比	実観光者数比	人数（人）	構成比	実観光者数比
兼六園	513	18.4	43.8	381	17.5	43.5
金沢城公園	534	19.2	45.6	429	19.7	49.0
金沢21世紀美術館	296	10.6	25.3	235	10.8	26.9
近江町市場	638	22.9	54.5	509	23.4	58.2
ひがし茶屋街	358	12.9	30.6	293	13.5	33.5
長町武家屋敷	140	5.0	12.0	119	5.5	13.6
輪島朝市	—	—	—	—	—	—
和倉温泉	—	—	—	—	—	—
加賀湯泉郷	33	1.2	2.8	26	1.2	3.0
その他	271	9.7	23.1	186	8.5	21.3
観光者小計（延べ人数：A）	2,783	100.0		2,178	100.0	
観光はしていない（B）	693			616		
回答ランナー数（C：人）	1,864			1,491		
実観光者数（D = C - B：人）	1,171			875		
実観光者比率（E = D / C × 100：%）	62.8			58.7		
一人当たり観光先件数（F = A / D：件）	2.4			2.5		

- ・県外ランナーの実観光者比率や一人当たり観光件数は、前回【KM2024】と比較して、大きな変化はみられない。
- ・なお、訪問した観光先についてのアンケートでは、能登半島地震の影響から、【KM2024】に引き続き、輪島朝市や和倉温泉といった選択肢は除外している。

資料：KM2025ランナーアンケート結果をもとに作成

## まとめ(1)

- ・KM2025の開催による経済波及効果は約22.8億円と推計される。前回大会【KM2024】の経済波及効果約21.8億円と比べると約1億円の増加となった。また、過去のピークである2019年大会【KM2019】の約22.6億と比較しても、それを僅かながらも上回る事となった。
- ・前回大会【KM2024】に比べて、経済波及効果額が増加したのは、国内ランナーの増加や、消費単価の上昇(ただし、多分に物価上昇の影響もあると思われる)が影響している。とりわけ、海外ランナーの増加や円安の影響もあって海外ランナーの消費単価がさらに上昇したことも影響している。
- ・一方、参加ランナーが増加した割には、2019年大会【KM2019】とほぼ同水準の経済波及効果にとどまったのは、悪天候により沿道応援者が減少した影響が大きいと考えられる。

## まとめ(2)

---

・経済波及効果をさらに高めていくための対応としては、

⇒消費単価が高い関東圏をはじめとした遠隔県ランナーの参加を促していくこと。(※)

⇒相対的に同行者比率や消費者単価の高い海外ランナーの参加を促していくこと。(※)

※そのためには、金沢市及び金沢市周辺だけではなく、能登地方についても観光の魅力度を高めていくことや、市内観光を行う際の一層の利便性向上を図ることは極めて重要。

⇒金沢マラソンが石川県の一大イベントとして地元住民や隣接県民により一層浸透し、主体的な参加意識を醸成していくこと。